

# 業務概要書

1	業務件名	ドローン航路構築業務
2	業務期間	(自) 2026年 8月～ (至) 2026年10月
3	業務場所	四国全域 (既存データを使用した設計)
4	業務目的	ドローン自動飛行の実現に向けたドローン航路構築業務を行う
5	業務内容	<p>ドローン航路構築 (約500 km) ※上記数量は、仮数量のため、見積もり段階で確定する</p> <p>○LaserMapViewer (以下、LMV) によるドローン航路の設計</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・LaserMapDataManagerを使用して、LiDAR Aerial Survey (以下、LAS) データをLMV用データに変換する。</li><li>・LMVにより、LASデータと送電線設備データを照合して、ドローンが安全に飛行できる航路データを作成する。</li></ul> <p>○ArcGIS (プラグイン) によるリスクアセスメントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ArcGIS (プラグイン) を使用し、地図上にLMVで作成した航路データから立入管理区画 (落下想定範囲) を表示させる。</li><li>・立入管理区画のリスクアセスメントを行い、立入管理区画用の周知看板が必要な箇所については、当社から提供する電柱位置情報にもとづき、電柱への設置箇所を選定する。</li></ul> <p>○航空局飛行申請用の資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・航空法にもとづくレベル3.5飛行申請に向けて、上記の「LMVによるドローン航路の設計」と「ArcGIS (プラグイン) によるリスクアセスメントの実施」に関する資料作成を行う。</li></ul>
6	その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・航路構築に必要なLASデータおよび設備データは別途提供</li><li>・航路構築に必要なシステムは受託者側にて準備</li></ul>